

# 不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

私たち柳津小学校職員は、高い倫理観を持って、職務に当たります。

- 1 私たちは、子どもたちに笑顔で接します。
- 2 私たちは、法令等を遵守します。
- 3 私たちは、不祥事を許しません。

福山市立柳津小学校  
作成責任者 校長 吉本博行

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<p>○サービス研修において、年間計画に沿って、回数・内容等適切に実施しているが、研修内容や活用資料、及び展開がパターン化しつつあるため、当事者意識の高まりに課題がみられる。</p> <p>○職員同士が何でも指摘し合える風通しのよい職場になりきれていない。</p>	<p>○サービス研修を計画的に継続実施していくことに加え、時機を捉えたタイムリーな研修を実施することを通して、当事者意識を醸成する。</p> <p>○日頃から「高い倫理観」に裏打ちされた常識豊かな言動に努め、互いの人間関係をより良好なものにする。</p>	<p>○計画的な研修に加え、新聞記事等を活用したタイムリーな研修を実施する。</p> <p>○隔月で職員面談を実施し、仕事上の悩みや問題点を把握し、必要に応じて共有化する。</p>	<p>○研修後、ふり返りカードに記述する。(毎研修後)</p> <p>○不祥事防止委員会で問題点が改善されているか協議する。(月1回)</p>
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<p>○小規模校のため、一人当たりの仕事量が多く、個々の仕事内容や動きが見えにくい。そのため、一人で悩みを“抱え込む”危険性が高く、不祥事につながる心配もある。</p>	<p>○教育活動の“選択と集中”を図るとともに、業務の効率化を進める。</p> <p>○日頃から「凡時徹底」を旨に職務に専念し、互いの信頼性をより良好なものにする。</p>	<p>○分掌等の協力体制、業務改善を進め、即応性を活かす体制をつくる。</p> <p>○PTA役員や地域の方々の“外の眼”を活用し、幅広く情報を収集する。</p>	<p>○企画委員会で教育活動の“選択と集中”を点検し、適宜協議する。(月1回)</p> <p>○不祥事防止委員会で問題点を明らかにし、共有化する。(月1回)</p>
相談体制の充実	<p>○相談日の周知は進んでいるが、具体的に、どこへ相談に行けばよいのかというわかりにくさがある。</p>	<p>○周知をくり返し行う</p>	<p>○各教室に相談日について掲示する。</p> <p>○個人懇談や参観日に、保護者にも周知する。</p>	<p>○年3回チェックリストを行う。</p>